



国土交通省 北陸地方整備局

あっと

えいぜん通信@北陸

2018年 秋号

Vol. 4 5



出典：みなとぴあ、新潟市、CC-BY 2.1 JP

(<https://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)

新潟市歴史博物館「みなとぴあ」

- 投稿者：新潟市建築部公共建築第1課
- 撮影場所：新潟県新潟市中央区柳島町2-10
- 施工者：本間・新潟藤田・田中・早勝・佐藤企 JVほか

Contents

事業紹介

石川運輸支局新庁舎の整備（平成30年度完成施設）【営繕部 整備課】…………… 2

～新潟開港150周年に向けて～

万代島多目的広場の屋内広場“大かま”整備及び旧新潟税関庁舎の改修等整備
【新潟市 公共建築第1課】…………… 3

トピックス

平成29年度完成 北陸地方整備局 優良工事の表彰(営繕関係) 【営繕部】…………… 4

北陸地方整備局・新潟地方気象台見学デー開催 ～見て、ふれて、知る北陸地整と気象台の仕事～
【営繕部 計画課】…………… 5

保全だより

秋の保全情報 【営繕部 保全指導・監督室】…………… 6

平成30年度 北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催 【営繕部 保全指導・監督室、金沢営繕事務所】…………… 7

情報ホットライン

公共建築に関する情報発信 【北陸地方整備局, 新潟県, 富山県】…………… 8～11
【営繕部】……………12～14

石川運輸支局新庁舎の整備 (平成30年度完成施設)

(営繕部 整備課)

1 庁舎整備の背景

旧石川運輸支局は、昭和44年に完成後49年が経過し、老朽化が著しいことに加え、車社会化の発展と共に、施設が狭隘になったことなどにより、金沢市直江東1丁目1番に新築移転したものです。

新庁舎は金沢副都心北部直江土地区画整理事業のまちづくりコンセプト『水と緑・新しい風・優しいまち』を踏まえた施設として整備しています。



石川運輸支局『ドローンによる空撮写真』

2 整備にあたっての主な配慮事項

- (1) 周辺環境と調和した施設整備
 - ・周辺道路への影響を最小限に抑える安全な車両出入口
 - ・外部より待機車両が見えない様に配慮
 - ・周辺地域の色彩イメージと調和する配色
- (2) 地球環境負荷低減に配慮した施設整備
 - ・昼光利用技術を採用したLED照明を設置
 - ・太陽光発電設備を設置
 - ・環境負荷低減のため、パッケージ形空調機器の熱源には、EHPを採用
(EHPは、電気式のヒートポンプ)
 - ・雨水利用設備を設置
 - ・自然採光換気を促すため、ハイサイドライトを設置
- (3) 木材の有効利用
 - ・内外装に木材、木質系仕上げ材を採用
 - ・『金沢らしさ』が感じられるデザイン (木虫籠[キムスコ]をモチーフとした縦ルーバー)を採用



庁舎 外観



庁舎 1階客溜『木質化』

■ 施設概要 ■	
○所在地	石川県金沢市直江東1丁目1番
○構造・規模	庁舎 1,511㎡ (RC造 2階建) 検査場 2,999㎡ (S造 平屋建)
○工期	2016年12月 ～2018年7月
○施工者	建築 (株)安藤・間 電気設備 北陸電気工事(株) 機械設備 (株)柿本商会
○設計・監理	設計 (株)大建設計 工事監理 設計室タイム



検査場 内部



鞍月小学校5年生による植樹体験

3 その他「担い手確保の取組」

建設業の人材確保及びイメージアップを目的とし、金沢市立鞍月小学校（所在地が校区）とタイアップし、「建築の魅力発信」の一環として、鞍月小学校 5年生による植樹体験を行いました。

事業紹介

～新潟開港150周年に向けて～ 万代島多目的広場の屋内広場“大かま”整備 及び旧新潟税関庁舎の改修等整備

(新潟市 公共建築第1課)

1 万代島多目的広場の経緯

当事業は、開港150周年に向けた万代島にぎわい空間創造事業の一環として、誰もが港の景観に触れ、憩うことができる多目的広場を整備することを基本方針に、大きなかまぼこ型の屋根形状を持つ旧水産物荷捌施設を全天候型の屋内広場に、隣接する旧水産会館等の跡地を屋外広場に整備したものです。

2 屋内広場整備内容

構造補強による耐震化、倉庫から集会場への用途変更に伴う耐火性能の確保が求められ、既存の鉄骨部材に補強や処置を施し、屋根と外壁は全面的な改修を行いました。内部は、大梁の錆を残し、壁には亜鉛鉄板を張るなど旧水揚場の雰囲気を残しつつ、開口部はシャッターを透明ガラスのスライド式アルミサッシに改修して、施設内外の空間をつなげ、にぎわい創出を図っています。

■施設概要■

- 名称 万代島多目的広場の屋内広場
- 所在地 新潟市中央区万代島4-2
- 構造・規模 鉄骨造平屋建て
延床面積 4,200㎡
- 工期 2017年7月～2018年2月
- 設計・監理 新潟市建築設計協同組合
- 施工者 小川・不二特定共同企業体 外



屋内広場“大かま”外観

1 旧新潟税関庁舎改修の経緯

当事業は、新潟市歴史博物館「みなとぴあ」の敷地内にある旧新潟税関庁舎について、開港150周年に合わせ改修工事を行うものです。本建物は、開港五港の中でも唯一現存する開港当時の運上所（税関）で、国の重要文化財に指定されており、日本建築の技術を用い、洋風をまねて表現しようとした「擬洋風建築」とされています。

2 改修工事内容

建物の耐震化では、基礎を耐圧版（ポストテンション方式）で一体化し、液状化の被害を軽減するとともに、上屋を構造用合板等で補強しました。併せて建物の保存修理では、漆喰の壁や天井を塗り直すなど、必要な修理を施しました。また防災設備改修では、内部の設備更新のほか、建物の外部2箇所から散水して延焼を防ぐ「放水銃」及び付属のポンプ室・貯水槽を新設しました。

■施設概要■

- 名称 重要文化財旧新潟税関庁舎
- 所在地 新潟市中央区緑町
- 構造・規模 木造平屋建て（一部2階）
延床面積 390.1㎡
- 工期 2016年10月～2018年11月
- 設計・監理 文化財建造物保存技術協会
- 施工者 (株)田中組 外



旧新潟税関庁舎 工事状況

トピックス

受賞、おめでとうございます

平成29年度完成 北陸地方整備局 優良工事の表彰(営繕関係)

(営繕部)

優良工事の表彰は、所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

毎年、事業や業務の内容等を考慮し、優秀な者を部長表彰及び事務所長表彰としています。また、優良工事に選定された工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業を表彰しています。

今回、平成29年度に完成した営繕工事のうち、優秀なものを営繕部長表彰として表彰を行いました。

営繕部長表彰

【優良工事】

受賞者：(株)丸山工務所

工事名：十日町簡易裁判所(17)建築工事

施設概要

○構造・規模

鉄骨造 2階建 延べ面積 452㎡



営繕部長表彰授与式(7月20日)

受賞者の喜びの声

この度、栄えある営繕部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。これもひとえに、発注者の皆様をはじめ、協力業者、携わっていただいた全ての皆様のご協力のおかげと、深く感謝申し上げます。

本工事は、十日町駅より徒歩3分に位置し、周辺には住宅地が隣接しています。往来する自動車や通勤、通学など通行量の多い場所で、その方々並びに周辺の住民皆様方に対する安全管理、駅前立地として景観、騒音対策が課題でした。取り組みとして、この工事に関わる全ての関係者が、地域住民の皆様方と積極的に挨拶を交わすことを心掛けるようにしました。

現場では、歩道部分に設置した敷き鉄板との段差を最小限に抑えるようゴムマットを敷き転倒防止を図り、また、周辺景観と差のある現場敷地内が、外部通行者から丸見えになるためラティスを設置し、外側にポットに入れた季節の花を飾り付け、景観に配慮しました。雨天時には、歩道などを足跡で汚さないように、ミーティング時に周知徹底しました。木造の自転車小屋は、材料のプレカット化により、現場での騒音低減に努めました。

十日町市地域は多雪地帯で、冬季間の雪処理対策が課題でしたが、駐車場の消雪パイプを先行施工し、試運転調整を兼ねて運転することにより、降雪が多い時期も工事車両の駐車スペースを確保して工事を進めることができました。また、結露や雪害に対する配慮が必要になり、建物本体の結露対策として熱橋部の断熱処理を提案し、実施に結び付けました。

以上の取り組みにより、長期に渡る工事において、挨拶という日々のコミュニケーションをしっかりと図ることで、地域の皆様方に工事へのご理解を頂くことができ、その結果、問題なく無事故で完成することが出来ました。このことは、常日頃の経験の積み重ねと、現場だけではなく会社全体で情報を共有し、取り組んだ結果であると思います。

今後も、この受賞を励みとし、技術の向上を図り、地域、社会に貢献できるよう努力してまいります。

北陸地方整備局・新潟地方気象台見学デー開催 ～見て、ふれて、知る北陸地整と気象台の仕事～

(営繕部 計画課)

平成30年8月9日(木)に、「北陸地方整備局・新潟地方気象台見学デー」を開催致しました。

この催しは、『広く一般の方に、北陸地方整備局と新潟地方気象台の仕事内容を知っていただくとともに、防災意識を向上していただく』ことを目的としています。

当日は、台風の接近のため建物内のイベントを中心とした開催となりましたが、約600名の方が来場し、見学や体験学習に参加していただきました。

○ 子供たちが庁舎内を探検

庁舎内では、普段は入ることのできない地下の免震装置、災害時の活動拠点となる防災対策室、屋上の無線鉄塔などを見学していただきました。

初めて見る、免震装置やモニター画面などに、目を輝かせながら庁舎内を探索していました。



地下の免震装置の説明を聞く子供たち

○ 体験学習でたのしく学ぶ

屋外や庁舎内では、車椅子体験や木製ブロックでの建物づくり、木工作物(椅子づくり)体験学習コーナーを設置し、114名の親子に参加していただきました。

車椅子体験では移動や通行の不便さ、木製ブロック体験では想像力発揮した大きな建物をつくり、椅子づくり体験では初めて釘や金づちの使用など経験・体感していただきました。



災害対策室のモニターの大きさにびっくり！



木製ブロックで建物などつくる親子たち



初めて車椅子に乗車した子供たち



初めて木工作(椅子づくり)した親子たち

秋の保全情報

(営繕部 保全指導・監督室)

1 国家機関の建築物の保全は、法において定められています。

公共の財産である国家機関の建築物は、高度な安全性を確保することが求められます。また、国有財産の既存ストックの有効活用を図ることが重要です。こうしたことから、「建築基準法」及び「官公庁施設の建設等に関する法律（官公法）」において、国家機関の建築物の保全と点検が位置づけられています。

2 秋の保全

今回は、秋の台風や落雷などによって起こる停電時の保全情報を記載します。

秋の台風は動きが速く、進行方向の右側で強風となりやすいのが特徴となっています。

防災用発電装置は、正常に運転しますか？

定期点検において、異常や部品交換を指摘されたまま放置していませんか？

防災用発電装置は、商用電源途絶（停電）時に、自動的にディーゼル機関等により発電機を駆動させ、防災用電負荷、保安用負荷、業務上停電が許されない負荷への電源供給する装置で原動機、発電機、制御装置及びこれらの付属装置より構成され、関係法令に適合した設備です。

消防法により、それぞれの消防設備に電源供給しなければならない時間が決められています。

定格負荷で60分以上の連続運転できることと、燃料タンクは2時間以上の容量を持つこと及び、40秒以内に電圧が確立することなどが定められています。また、建築基準法によっても同様な定めがあります。

防災用発電装置が必要時間運転されるためには、必要量の燃料が備蓄されていることを確認してください。

防災用発電装置は、始動のため蓄電池を搭載している機器が多くを占めます。

電池の寿命は熱による影響が大きく、鉛蓄電池は、25℃で7～9年の寿命が40℃では2.5～3.3年と極端に短くなります。

寿命を過ぎた蓄電池は防災用発電装置の始動不良の原因となりますので点検時に指摘を受けた場合は新品への更新を検討しましょう。

防災用発電装置の保全は、停電時に確実に起動するために行います。

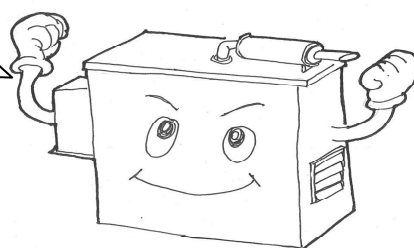
防災用発電装置は、使用頻度は低い装置ですが、緊急時に電源供給が出来ずに、消防用設備が動かないことは人命に関わる問題となります。

法定点検等により適切に保全しましょう。

電力が復旧した（復電）後は、タイマー類の補正が必要な場合もあります。復電時に停止状態となっている機器もあります。サーバー室のエアコンは止まっていないか、確認して下さい。

防災用発電装置を持たない庁舎の保全責任者の方も、停電時の事業継続計画（BCP）を確認しておくことが大切です。

停電時に必要なので、日頃のメンテを忘れないで！



保全だより

官庁施設の効率的な維持管理を目指して！

平成30年度 北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催

(営繕部 保全指導・監督室 & 金沢営繕事務所)

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所は、新潟県、富山県及び石川県において、平成30年度「北陸地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。この会議は、国家機関の建築物の保全業務を担当している施設管理担当者に対して、保全業務の現況と課題等を紹介し、保全業務の参考にしていただくことや、意見交換を行うことを目的に開催しています。

北陸地区官庁施設連絡会議参加状況

開催日	平成30年7月9日	平成30年7月26日	平成30年7月23日
開催地区	新潟県	富山県	石川県
開催会場	新潟美咲合同庁舎1号館	富山地方合同庁舎	金沢駅西合同庁舎
参加者			
国家機関	20 機関 35 名	10 機関 14 名	19 機関 28 名
地方自治体	7 機関 12 名	11 機関 14 名	8 機関 10 名
独立行政法人	3 機関 3 名	2 機関 2 名	1 機関 1 名

〔連絡会議の主な内容〕

1 北陸地整管内の建築物等の保全の現況について

平成29年度において、国家機関の建築物の対象としている保全実態調査により把握出来た北陸地方整備局管内の施設は、477施設、延べ面積約86万㎡となっています。建設後30年を超えている施設が、過半数を超える状況にあり、今後、大規模な修繕や設備機器の更新等が増加していくことが予想されるため、各省で策定している「インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づいた保守等の重要性について、説明を行いました。

2 災害発生時の被災情報の共有について

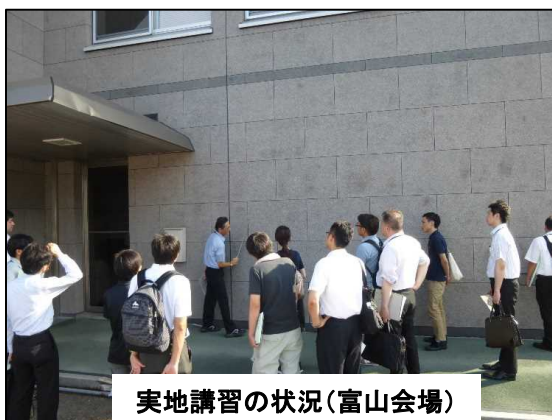
近年、大地震や大雨による洪水など自然災害が頻発しておりますが、これら災害発生時において、各省各庁と連携して官庁施設の被災情報を相互に確認し、共有するため定めた「官庁施設の被災情報伝達要領」について説明を行いました。

3 新たな政府実行計画について

平成28年5月に閣議決定された温室効果ガスの総排出量を2013年度を基準として、2030年度までに40%削減を目標とする『新たな政府実行計画』について、新潟地区は関東地方環境事務所、富山、石川地区については、中部地方環境事務所の担当者より説明をしていただきました。



会議状況(新潟会場)



実地講習の状況(富山会場)

4 その他情報提供について

保全業務に有用な情報提供を行いました。

- ①PCB廃棄物について
 - ②消火器の規格・点検基準の改正について
 - ③業務用冷凍空調機器の点検について
- ほか

5 保全実地講習

各地区会場の合同庁舎をモデルとして、建物内の各室・各所及び外壁、屋上、敷地内について、維持管理上重要な箇所を回って支障がない状態の確認において、留意すべき点の説明を行いました。

公 共 建 築 に 関 す る 情 報 発 信

(北陸地方整備局、新潟県、富山県)

■公共建築物における木材利用の促進 ⑤
(シリーズ)

【北陸地方整備局】

国土交通省では、各省の「公共建築物における木材の利用の促進のための計画」に基づき、各法令で耐火建築物とすること及び主要構造部を耐火構造とすることが求められていない低層の建築物は原則木造化、利用者の目に触れる機会の多い場所の木質化に取り組んでいます。

「石川運輸支局」

平成30年7月に完成した石川運輸支局は、移転整備に伴い庁舎の内外装木質化や、付属屋の木造化を積極的に実施しました。利用者に木の表情又は温もりによる癒しを与えられるよう配慮することを目的としています。

低層の付属屋である封印上屋、自転車置場を木造化し、耐火建築物である庁舎棟においては、利用者の目に触れる機会の多い外壁面や、客溜まりの仕上げ材を木質化しています。



庁舎 客溜まり



封印上屋

自転車置場



庁舎(外壁ルーバー)

構造材にはマツの集成材を、造作材にはスギ材を用い、耐久性を備えた材料を使用することによって、その効果を長く保つことができるよう配慮しています。

■施設概要■

○構造規模：	(庁 舎)	RC造 2階建
	(封印上屋)	W造 平屋建
	(自転車置場)	W造 平屋建
○延べ面積：	(庁 舎)	1,511.44㎡
	(封印上屋)	48.76㎡
	(自転車置場)	49.68㎡

「十日町簡易裁判所」

平成30年3月に完成した十日町簡易裁判所は、建て替えに伴い主に法廷、会議室等の内装の木質化や自転車置場の木造化を実施しました。

法廷では、天井回り縁・腰壁・法壇等、会議室では、巾木・天井回り縁・カーテンボックス等を木質化しています。

自転車置場は、木造軸組構造として国産の集成材（桧）を活用しています。



法 廷

自転車置場



■施設概要■

- 構造規模：（庁 舎） S造 2階建
（自転車置場） W造 平屋建
- 延べ面積：（庁 舎） 452.94㎡
（自転車置場） 9.83㎡

「村上簡易裁判所」

平成30年4月に完成した村上簡易裁判所は、建て替えに伴い主に法廷、会議室等の内装の木質化や自転車置場の木造化を実施しました。

法廷では、天井回り縁・腰壁・法壇等、会議室では、巾木・天井回り縁・カーテンボックス等を木質化しています。また、村上市の景観条例で接道部分の景観について町並みに配慮をする事となっていたため、可能な限り無機質な人工物を無くし、自転車置場についても屋根材以外は、全て木材を見せるよう配慮しています。



自転車置場



法 廷

■施設概要■

- 構造規模：（庁 舎） S造 2階建
（自転車置場） W造 平屋建
- 延べ面積：（庁 舎） 462.39㎡
（自転車置場） 11.44㎡

【新潟県2】

新潟県では、『公共建築物等における県産材利用推進に関する基本方針』において、低層の建築物は木造とすることを原則としています。

特に、一般利用者の目に触れる箇所では、内外装の木質化も行っています。

あわせて、瓦（安田瓦）や漆喰塗りといった木造と相性のよい素材の活用にも取り組んでいます。

小規模木造（1）

施設名 醸造試験場研修棟

概要 木造2階 143㎡ H29年度完成

既存施設はRC造でしたが、研修棟を増築するにあたって、木造としました。

主要な室である研修室は、内装の木質化を図っています。

玄関から廊下にかけて、開口を多く設け、内装を木材のあらわしとしたことで、明るく、親しみやすい雰囲気になりました。



醸造試験場研修棟外観



研修室



玄関・廊下

小規模木造（2）

施設名 鳥屋野潟公園緑側帯トイレ

概要 木造平屋 7.45㎡ H28年度完成



鳥屋野潟公園緑側帯トイレ外観

小規模木造（3）

施設名 鷺崎漁港公衆便所

概要 木造平屋 9.9㎡ H27年度完成



鷺崎漁港公衆便所外観

【富山県2】

「富山県立近代美術館」

既存の富山県立近代美術館の耐震性の不足などの理由により、富岩運河環水公園西地区へ移転・新築することとなりました。

内外装の仕上において、富山県の地場産品を様々な形で使用し、展示する役割を担っており、内装には、県産材である「ひみ里山杉」を多用しています。

■施設概要■

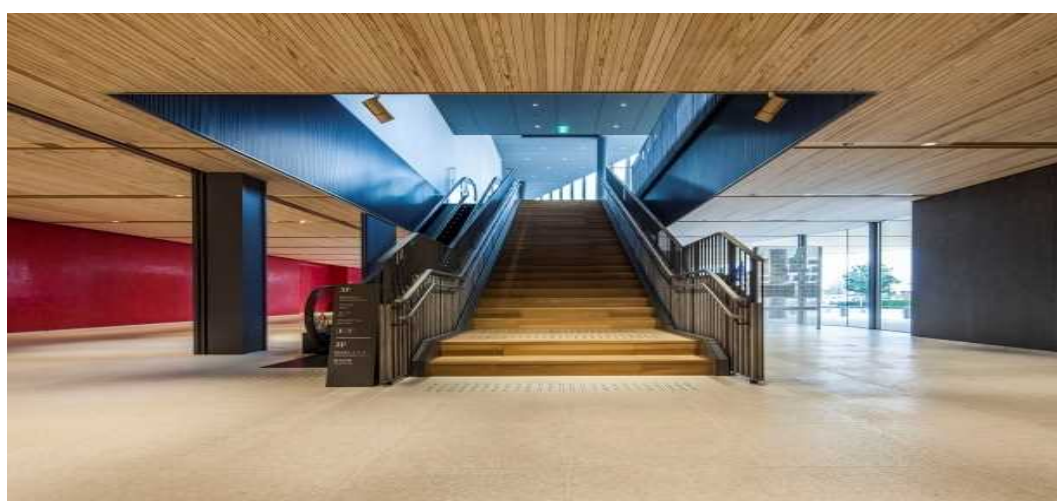
- 構造・規模 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上4階建
延べ面積 14,990㎡
- 工期 2015年4月～2016年12月
- 設計・監理 (株)内藤廣建築設計事務所
- 施工者 清水建設・三由建設・前田建設
共同企業体 外
- 木材使用量 147㎡(うち県産材64.3㎡)



2階中央廊下

(photo by SS北陸支店)

天井・壁面(ひみ里山杉使用)



1階玄関ホール

(photo by SS北陸支店)

天井(ひみ里山杉使用)

公 共 建 築 に 関 す る 情 報 発 信

(営繕部)

■「公共建築の日」及び「公共建築月間」

関連イベント

行政や教育文化、福祉などさまざまな分野にかかわる各種の公共建築物は、地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成などを図る上で、重要な役割を果たしています。また、近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運用のあり方を考えるべきという気運が高まってきたという状況を踏まえ、「公共建築の日(11月11日)」及び「公共建築月間(11月)」が創設されました。

北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所、新潟県土木部及び新潟市建築部が主催する今年度の公共建築月間・関連イベントは、以下を予定しています。

「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント一覧

開催日	名 称	主催者等
11月9日	現場見学会 (工業高校生40名予定)	新潟県土木部 共催：公共建築協会
11月10日	金沢城復元 「匠の技」セミナー	後援：石川県 土木部
11月11日	公共建築パネル展(新潟) (佐渡市相川市営駐車場 周辺)	北陸地方整備局 営繕部
11月11日	みなとぴあ・まるわか リツアー	新潟市建築部
11月30日～ 12月1日	公共建築パネル展(石川) (サイエンスヒルズこまつ)	北陸地方整備局 金沢営繕事務所

※上記以外のイベントも掲載予定です。

【(一社)公共建築協会】

http://www.pbaweb.jp/public_event

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

なお、国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000063.html

○ 北陸地方整備局営繕部計画課

TEL：025-280-8880 (内線5153)

FAX：025-370-6504

○ 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課

TEL：076-263-4585

FAX：076-231-6369

e-mail: pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名、会社名、担当者、連絡先等をご記入ください。

■ 発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けするため、「官庁営繕部発注情報メール配信サービス」を試行しています。公告日に、登録されたメールアドレスに配信されます。無料でご利用いただけますので、是非ご登録ください。

1 対象となる発注機関と工事・業務種別

(1) 発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部、
北陸地方整備局営繕部及び
金沢営繕事務所、

北海道開発局営繕部、
各地方整備局営繕部及び営繕事務所、
沖縄総合事務局開発建設部営繕課

(2) 工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

(3) 業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録手続を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。

登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3 メール配信される発注情報

- (1) 工事名称または、業務名称
- (2) 工事種別、工事の等級区分、施工場所、業務の場合は、業務種別
- (3) 技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は、入札情報サービスにてご確認ください。

<http://www.i-ppi.jp>

■ 工事・業務発注見通し及び入札公告に

関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所における工事や業務の発注見通し等は、下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

■ 保全マネジメントシステム（BIMMS）

導入・活用事例集について

国土交通省では、市町村による公共建築物の個別施設計画策定（平成32年度までに策定）を支援するため、個別施設計画を容易に作成できるBIMMSについて、地方公共団体が導入時に検討した内容や、活用状況をまとめた事例集を官庁営繕部ホームページに、掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000025.html

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や、地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

出前講座出張例：

6月12日 石川県管工事業協同連合会 総会

6月14日 新潟電設業協会 北陸営繕研修会

■ QRコードが利用できます

北陸地方整備局営繕部

ホームページの「QRコード」を作成しました。ご利用ください。



■ 施工管理技術検定試験合格証明書の

申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
管工事施工管理技士		

* 英文証明書の発行も行っております。

■ 施工管理技術検定の年2回化の

実施計画が確定

平成30年度より実施する2級学科試験の年2回化について、試験日程を含めた実施計画が確定しましたので、お知らせします。

下記ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000537.html

えいぜん通信@北陸 平成30年10月発行

編集：  北陸地方整備局営繕部
ホームページアドレス
北陸地方整備局金沢営繕事務所
ホームページアドレス

TEL025-280-8880(代表) FAX 025-370-6504

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

TEL076-263-4585(代表) FAX 076-231-6369

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。

北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。